



札幌市立北陽中学校
学校だより
特集号

「平成30年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

4月17日に、中学校では3年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されました。文部科学省はこの結果を公表し、本校では3年生一人一人に個人票を配付しております。つきましては、本校生徒の学習状況や調査結果から考えられる課題や改善の方向等についてお知らせいたします。

なお、学校ごとの数値については公表しないという札幌市教育委員会の決定を受け、本校の平均正答率などの数値結果は公表いたしませんのでご了解ください。本調査結果に関わるお問い合わせにつきましては、直接、教頭までご連絡ください。

調査の内容

（1）教科に関する調査

- 〔国語A・数学A〕主として「知識」に関する問題
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題
- 〔国語B・数学B〕主として「活用」に関する問題
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題
- 〔理科〕主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うものを出題

（2）生徒質問紙による調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

生徒質問紙による調査結果

すべての質問のうち、4段階回答の「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計し、全国平均と比較した結果についてお知らせします。質問（1）（12）（23）に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という回答が多いことから、「自己肯定感を高くもち、さらに地域社会活動に積極的に参加する。また、家庭学習が充実している生徒が多い」という特徴がうかがえます。また、各教科学習の取組については、全国平均に比べると特に理科で肯定的な答えが多く見られました。しかし、（45）（52）（53）（54）の回答結果から、**課題探求的な学習に対する取組への指導がさらに必要**と思われる。今後の教育課程を考える上で、アンケート結果を精査し改善策を検討していきたいと思えます。

1. 全国平均と比較して肯定的な回答が多かった項目

番号	質問事項	本校	全国	差
(1)	自分には、よいところがあると思いますか。	83.4%	78.8%	4.6%
(10)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	62.6%	52.1%	10.5%
(12)	家で、学校の授業の予習をしていますか。	83.4%	78.8%	4.6%
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。	76.7%	71.3%	5.4%
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。	82.0%	76.0%	6.0%
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。	64.6%	59.3%	5.3%
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。	81.4%	73.6%	7.8%
(29)	数学の授業内容はよくわかりますか	78.7%	71.0%	7.7%
(35)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。	74.7%	70.4%	4.3%
(38)	理科の勉強は好きですか	72.7%	62.9%	9.8%
(40)	理科の授業の内容はよくわかりますか	76.7%	70.0%	6.7%
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	60.0%	55.7%	4.3%
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	89.4%	82.1%	7.3%
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	63.3%	59.0%	4.3%

2. 全国平均と比較して肯定的な回答が少なかった項目

番号	質問事項	本校	全国	差
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。	15.4%	25.5%	-10.1%
(27)	数学の勉強は好きですか。	48.0%	53.9%	-5.9%
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	29.4%	38.7%	-9.3%
(33)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	66.7%	72.9%	-6.2%
(34)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	64.0%	69.2%	-5.2%
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。	34.0%	41.4%	-7.4%
(52)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	68.0%	73.8%	-5.8%
(53)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	48.7%	53.8%	-5.1%
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	70.7%	76.3%	-5.6%

全国学力・学習状況調査の結果概要と改善の方向

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>◇「話すこと・聞くこと」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>「書くこと」 全国平均とほぼ同程度である。</p> <p>「読むこと」 全国平均とほぼ同程度である。</p> <p>◇「言語についての知識・理解・技能」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>◇「話すこと・聞くこと」 全国平均よりほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>◇「書くこと」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>◇「読むこと」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>◇「言語についての知識・理解・技能」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと。 <p>→</p> <p>古典の文章を現代語訳に対応させたり、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり、要旨を捉えたりすることこと。・ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問できること。	<ul style="list-style-type: none">・ 新出の語句を取り上げ、意味や用法を留意しながらその語句を使った短文を作る学習活動の充実。・ 定着しにくい漢字や間違えやすい漢字について意識をもって読み書きをさせる指導の充実。 <p>→</p> <ul style="list-style-type: none">・ 言葉のまとまりに留意しながら大まかな内容を捉えたり、音読を通して理解を深める指導の充実。・ 内容を表にまとめるなどの作業を行い、図表などが文章のどの部分と関連しているか確認し、お互いに説明しあう学習活動の充実。・ 説明や発表などを聞き、自分の考えと比較し、わからない部分や聞きたいことについて質問をし、自分の考えをさらに深める指導の充実。

記号について	△ 上回っている (+3%以上)
全国平均正答率と比較して 4段階で示しています。	◇ やや上回っている
	◆ やや下回っている
	▼ 下回っている (-3%以下)

【数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>◆「数と式」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや下回っている。</p> <p>◇「図形」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや上回っている。</p> <p>△「関数」の平均正答率 全国平均に比べ上回っている。</p> <p>◆「資料の活用」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや下回っている。</p> <hr/> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>△「数と式」 全国平均に比べ上回っている。</p> <p>◇「図形」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや上回っている。</p> <p>◆「関数」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>◇「資料の活用」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数を含む正の数と負の数の四則計算ができること。 ・ 簡単な連立二元一次方程式を解くことができること。 ・ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができること。 ・ 代表値の必要性和意味を理解し、代表値を求めることができること。 ・ 問題解決の過程を振り返り、成り立つ事柄を数学的に表現することができること。 ・ グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができること。 ・ 図形の証明において付加した条件の下で、新たに見いだした事柄を数学的に表現できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の順序を理解し、確実に計算できる指導の充実。 ・ 計算の決まりにしたがいながら、式に応じて工夫して計算できる指導の充実。 ・ PCなどを有効に活用し、平面図形の運動によってどのような空間図形が構成されるかを考察する学習活動の充実。 ・ 代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取る学習活動の充実。 ・ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明する学習活動の充実。 ・ 問題解決において用いるグラフを事象に即して捉え直し、グラフの交点を事象に即して解決できる指導の充実。 ・ 新たな条件の下で見いだした事柄の前提にあたる条件とそれによって説明される結論を表現する指導の充実。

【理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <ul style="list-style-type: none">◆「物理的領域」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや下回っている。 △「化学的領域」 全国平均に比べ上回っている。 △「生物的領域」 全国平均に比べ上回っている。 ◇「地学的領域」 全国平均に比べほぼ同程度であるかやや上回っている。	<ul style="list-style-type: none">・電流計についての技能や電気用図記号についての知識を身につけること。・オームの法則を使い抵抗の値を求めること。・電力の違いによって、発生するエネルギーの量に違いがあるという知識を身につけること。 ・科学的な探求の場面で条件制御の知識・技能を活用できる。 ・風向きの観測方法や記録に関する知識や技能を活用できる。	<ul style="list-style-type: none">・回路を作り、回路の電流や電圧を測定する実験を行い、電圧と電流の関係を見いだす指導の充実。・電流によって熱や光を発生させる実験から、電力の違いによってエネルギーの量に違いがあることを見いだす学習指導の充実。 ・日常生活や自然の事物・現象から問題を見いだして課題を設定し、条件を制御した実験を計画する指導の充実。 ・気象観測を行い風向の観測方法や記録の仕方を身につける学習活動の充実。